

「自然資本」でワッショイ！SDGs 達成をもっと盛り上げる分科会

大日本コンサルタント株式会社・株式会社ポリテック・エイディディ

1. 分科会の概要

① 分科会の目的	SDGs の基盤である「自然資本」や「生物多様性」の切り口から、各自治体の SDGs 達成のための取組を再評価するため、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）での知見を活かし、自然資本や生物多様性の面から SDGs 達成度を評価する手法構築を試行します。また、その結果を活用して、持続可能な地域循環共生圏の実現に向けた自治体向けの勉強会と助言を行います。 （※ゴール・ターゲット横断的な取組なので特定のゴール・ターゲットは設けません。）
② 分科会で解決したい課題	SDGs 未来都市の取組において、SDGs を下支えする自然資本や生物多様性を保全する視点がほとんど入っていません。 自然資本や生物多様性のポテンシャル（活用可能性）を分科会で開発するツールを用いて各ゴールへの貢献内容や達成度を評価し、自治体の統合的な課題解決に寄与する取組を整理します。 名古屋 CBD/COP10 の目標年（2020 年）まであと 1 年。SDGs を踏まえて、“Living in Harmony”の実装モデルを CBD/COP15 北京に向けて発信していきます。
③ 分科会のもとで行う具体的活動等	活動概要：SDGs 未来都市を対象にした 2 つの活動（自然資本・生物多様性評価手法構築 WG、自然資本の視点を取り込む勉強会）を軸とします。
活動 1： SDGs 未来都市における自然資本・生物多様性評価手法構築 WG	実施内容：SDGs 未来都市の推進を自然資本・生物多様性の視点から評価する手法（ABINC 自治体版の評価ツール）を検討し、事例を用いたチューニングを行います。 年度内の実施回数（予定）：年 4 回程度 実施場所：東京または現地
活動 2： 自治体向け勉強会	実施内容：自然資本や生物多様性の視点から、SDGs 未来都市の取組の魅力を、さらに引き出す施策について自治体向けの勉強会をします。 年度内の実施回数、実施頻度（予定）：年 2 回程度 実施場所：東京または現地
④ 期待される成果（アウトプット）	SDGs 未来都市版の自然資本・生物多様性評価手法の公開 “Living in Harmony”の取組実装モデルの発信
⑤ 資金・物資計画	【直接人件費】 1. 分科会準備作業人件費 2. 分科会実施作業人件費 3. 分科会成果とりまとめ作業人件費 【直接経費】 1. 交通費・宿泊費 2. 調査研究費 3. 印刷費 4. その他

2. 参加メンバーへの期待

① 参加してほしいメンバー	SDGs 未来都市に選定された自治体、これから選定される自治体。その他一緒にやりたい企業、学校等、特に制限を設けません。
② 想定しているメンバー数	いくらでも
③ メンバーへの期待	情熱

3. 実施スケジュール

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	4月以降
全体		▲ 総会					▲ 次年度総会 成果報告
活動領域 1 : 評価 WG	定例会議(年 4 回程度、東京または現地で開催予定)						
活動領域 2 : 勉強会					定例会議(年 2 回程度、東京または現地で開催予定)		
その他	臨時会議(適宜、東京または現地で開催予定)						【必須】 年次活動報告書の 提出(2月末)

4. その他特記事項

① その他特記事項	自然資本・生物多様性の視点から SDGs 達成に向けた取組を面白くしたい人、一緒にやりましょう。
-----------	--

5. 連絡窓口

団体名	株式会社ポリテック・エイディディ
部署	環境計画グループ
担当者名	伴 武彦
電話番号	03-6222-8914
メールアドレス	btake@polyadd.co.jp